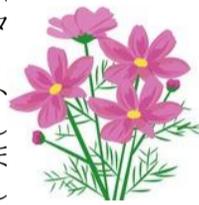




五木東小 第13号

学校便り
文責
生田 文明

さわやかな秋に



子どもたちは、元気に登校し、二学期がスタートしました。教室からは、子どもたちの明るい元気な声が聞こえ、寂しかった学校が、甦ったようです。教室や廊下の窓からは、風に揺れる色とりどりのコスモスが目に写り、急に秋らしくなってきたと感じます。

二学期は、スポーツの秋・読書の秋と言われるように、運動や学習するのに最適な時期です。そこで、始業式では、さわやかな秋のように、さわやかな心を持ち、さわやかな二学期にするために、心がけて欲しい二つのことを子どもたちに話しました。

一つ目は、自分の周りのすべてのものに、思いやりや感謝の気持ちを持って、気づき、考え、行動することができるようになること。(美しいものを美しいと感じることができる感性豊かな人、心をこめた気持ちのよいあいさつができる人、友だちへの心配りができる人になりましょう。)

二つ目は、決めたことを最後までやり遂げること。(一人一人が、二学期の目標を決め、これから取り組んでいきますが、成し遂げた時の喜びをみんなで、共有していきましょう。)

さわやかな秋のごとく、いつもさわやかな心で生活・学習・運動ができる二学期にしていきたいと思えます。



夏休みの思い出



今年、台風接近や大雨のため、ぎりぎりした太陽が照る日が少ない夏でした。休日に限って雨が降ることも多く、家族で、海や山へ出かけることもままならぬ、夏休みだったのではないのでしょうか。

そんな夏でしたが、五木村では、延べ二十日の「夏休みのびのび教室」が、子どもたちの体験活動の充実を図るために企画され、本校の多くの児童が参加しました。

教育委員会・支援員の皆さん、地域ボランティアの皆さん、そして県立大学の学生さんなど、多くの方々を支えられて、川辺川や端海野などで、五木村の素晴らしい自然を満喫する体験活動ができ、ふるさと五木のよさを体感するよい機会となりました。子どもたちが大人になってからも、今回の経験を次の世代に引き継いでくれると思います。

また、八月十七日は、「くまもと子ども芸術祭」に参加させていただきました。

高野の棒踊り保存会の皆様のご指導により、棒踊りの腕前が上がった五・六年生。当日は、戦国の世をイメージした舞台で、まるで当時にタイムスリップしたかの錯覚に陥るくらい雰囲気の中で、踊りを披露することができました。

ご指導、ご支援いただきました、棒踊り保存会をはじめ地域、関係者の皆様、誠にありがとうございます。



第一回リサイクル活動及び親子作業



一年生担任だった須本先生が、出産準備のためにしばらく学校を休みます。そこで、二学期からは須本先生に代わり、山田成代先生が、一年生を担当します。山田先生は、本校で三年間、支援員として勤め、学校・地域のこと精通しています。球磨・人吉地域の学校でも担任として活躍されました。

元気で、気さくな山田先生です。明るく楽しそうな子どもたちと先生の声が、いつも教室から聞こえてきます。



八月三十一日、標記活動・作業が行われました。当日は、天候にも恵まれ、五木村全域の方々の協力を得て、アルミ缶、一升瓶等のリサイクル品の回収を行うことができました。また、リサイクル活動後は、親子作業として、運動場や花壇の草刈り・草取りを行いました。見違えるほどに学校が美しくなりました。美しく整備していただいた環境のもとで、二学期の授業がスタートできました。

地域・保護者の皆様、ご協力、ご支援、ありがとうございました。

ようこそ 山田先生